

独立行政法人水産大学校の平成27事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され農林水産大臣による平成27年度の総合評価がB評価であったこと等を踏まえ、評価結果による役員の交代等を行わなかった。
----------	--

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され農林水産大臣による平成27年度の総合評価がB評価であったこと等を踏まえ、役員報酬の増減を行わなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	27事業年度評価における主な指摘事項	平成28及び29年度の運営、予算への反映状況
情報の公開・保護・セキュリティ	情報セキュリティ対策の徹底を図る必要がある。	<p>水産総合研究センターとの統合により平成28年4月1日に設立された国立研究開発法人水産研究・教育機構において、経営企画部に同日付けで情報管理の専任部署として情報管理室を設置したほか、インシデント発生時の対応体制としてCSIRT (Computer Security Incident Response Team、シーサート) を発足させ、情報セキュリティ及び組織的対応能力の強化・充実に取り組んだ。</p> <p>また、ネットワークに接続されているパソコン等機器のセキュリティ対策を実施するための基盤として、Active Directoryを導入し運用を開始した。</p> <p>さらに、情報セキュリティポリシー等の遵守の徹底を図るため、平成28年9月に全役職員を対象としたeラーニングによる情報セキュリティの研修を実施したほか、平成29年2月には全役職員を対象とした標的型メール攻撃訓練を実施するなど、継続して情報管理とセキュリティ強化体制の維持に努めている。</p>